

湘南にのみや 議会だより

第170号
12月定例会号
発行：平成31年2月25日

文化財防火デーに伴う消防訓練（西光寺）
平成31年1月27日

12月臨時会（12/4）・定例会（12/17～12/25）

- ◆ 町長2期目へ「所信表明と総括質疑3名」…………… 2～3
- ◆ 新副町長、新教育長決定、三役給与カット等の条例審査 …… 4
- ◆ 小・中学校へのエアコン設置、未払い時間外手当等の補正予算 … 5
- ◆ 一般質問7名 ……………… 6～9
- ◆ 改選後の「新たな決意」、議会の委員会構成が決定…………… 10～11
- ◆ 町内の3つのプール 町は「袖が浦プール廃止」の方向へ …… 12



© TOKIOHEIDI/Ninomiya Town

町長 2 期目の所信表明

安全・安心なまちづくりの拠点づくり

大規模地震に対する備えを強化

- 被災時に災害対策本部として機能する役場庁舎は、新庁舎としてラディアン周辺へ移転・建設し、教育委員会や保健センターを集約。ラディアンや図書館との連携で新たな交流拠点とする。

自然の中で安心できる子育て環境の充実

子育てを地域と社会で応援

- 妊娠から子育て期の切れ目ない支援を充実するとともに、支援を必要とする子への継続的な支援や、子育てに不安を感じる保護者が気軽に相談できる体制の充実。
- 子どもと共に大人も楽しみ学べる場として東京大学果樹園跡地の活用やボール遊びができる公園の整備。

子ども・教師・保護者・地域の人々が 共に学び育ちあう教育の充実

子どもたちの能力を最大限に引き出すため、自発的に行動を起こせる環境を整え、計画的な教育へ投資

- インターネット環境整備やタブレットの導入。英語教育の充実。プログラミング教育の開始。普通教室への空調整備。
- コミュニティ・スクールを全小中学校に導入。小中一貫教育のもと学校の再配置と通学区域の変更も進める。

ひとり暮らしを支える地域づくりの推進

誰もが生き生きと暮らし、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる地域づくり

- 二宮型「地域包括ケアシステム」の確立。

第2のふるさととしての町の魅力の発信強化

定住人口、交流人口増とともに、町に継続的に関わる「関係人口」を増やす。

- 海や山などの豊かな自然環境や暮らしやすい良好な住環境を守り、魅力あるまちづくり。
- 「にのみやLife」の認知度をさらに高める効果的な情報発信。

持続可能で多様性を認める共生社会の推進

「響き合う」まちづくりを進め、住んでいるすべてのかたがたが楽しく幸せに過ごせる町に

- 的確で効果的な情報発信を進め、現場へ赴き顔の見える関係の中で意見交換をしながら一体となった自治体運営に努める。

今後 4 年間の取

前田 憲一郎

(無所属)



村田町長の所信表明 6つの柱について問う

Q 安心して暮らせるまちづくりの一つは、交通環境と防災対策の向上である。大規模地震に対する備えをより一層強化する必要がある。ブロック塀に亀裂が入り傾いていたり、民家に大木が倒れそうな所もある。道路もいたるところ破損している。歩道がなく事故が起きそうな危険なところもある。どのように対応していくのか。

A 道路補修が必要とされる箇所の優先度や費用の算定、国の補助金確保などにつなげ適正な維持管理を推進し、巡視点検や地区要望により補修対策を強化していく。ブロック塀等撤去工事補助を予算に計上し、所有者への支援体制を整えていく。

Q 一人暮らしを支える地域づくりについて、地域の「通いの場」は円滑に運営されているが、近くに店がなく買い物に困窮している買い物難民が各地区に多数いる。地域で自立生活を支援していく具体策はあるのか。高齢者医療費無償化を実施していく考えはあるか。

A 地域の「通いの場」で情報を共有し、お互いできることを助け合える場となるよう支援していく。地域の課題や必要な生活支援について地域の協議体や「お互いさま推進協議会」の中で生活支援コーディネーターを中心に活動している。高齢者医療無償化は難しい。

Q 町の魅力の発信強化としてこの町の特色を活かし「海と山を走ろうマラソン大会」を実施し、多くの方にご自分の目で町の良さを見ていただくことが情報発信につながると思うがいかがか。

A 行政がやっていくという時代ではない。これも民間や町民有志の方でそういった可能性をお話しいただくことも1つと思っている。

台風の強風で倒れた町天然記念物樹齢300年の古木、倉庫を損壊



り組みに対し、3名が総括質疑



一石 洋子
(神奈川ネットワーク運動)

抜本的政治システムの改革を視野に新庁舎議論を

Q 地方自治の変革が求められる岐路の時代、対処的な経費削減だけでなく、住民自治のトップランナーとなるべく人材豊富な顔の見える町の素質を活かす持続可能な政治の仕組みにむけて、抜本的な改革が必要ではないか。

A 古くて新しい課題。円卓で行政と住民が協働の課題解決をピンポイントで継続して議論する場は重要で丁寧に持ちたい。

Q 財政の収縮する未来を見据えて新庁舎建設の議論を。時代に合わないシステムを踏襲する箱ものを創るためだけでなく、新しいシステムを考えるチャンスをとらえたい。災害に強い町を作ることもつながる。創造的なリーダーシップを。

A 旧年末からの基本構想基本計画案後のパブリックコメント、アンケート、新庁舎町民検討会、2月16日、17日に町民との意見交換の場を持つ。平成31年度に基本設計、32年度には実施設計と進む予定。さまざまな場面で説明、意見を伺い、活かしていく。

Q 都市化のボーダーとして二宮町の誇る風土だが荒れている。自然を活かした健やかな暮らしのために、防災の視点からも「農」の可能性は計り知れない。また水辺の環境改善の発言力を持つためにも自然を活かす施策実績が欲しい。

A 新規就農、遊休農地対策への支援を続ける。農に親しむニーズを活かすことも進めたい。

Q 安心安全のために予防接種、免疫の情報提供と自治体損害補償保険の適応への責務は。

A 国、県の情報へのアクセス、図書館の活用もぜひ進めたい。しっかり勉強し、行政のバックアップの可否を模索していく。



防災の一助・絶好の遊び場であった田んぼや畑



渡辺 訓任
(日本共産党)

地域経済活性化・働き方改革を町政の柱に加えよ

Q 子育て世帯支援では経済的支援が重要。小児医療費助成の所得制限撤廃、国民健康保険の子ども向けの均等割減額をどう考えているか。

A 国の施策を求めている。町独自では財政的に難しい。近隣自治体の動きを見ていく。

Q 学校再配置は地域で学校を支える方々、教職員、保護者の合意に基づく進め方が必要で、急ぐ必要があるのか。

A 平成32年度を目標に計画をまとめるが、話し合い・意見を尊重する。一方的には進めない。少子化への対応は必要で、関係者に対し、説明会・意見交換の場を設けていく。

Q 「二宮型」地域包括ケアシステムとは。

A 地域力に依拠した地域包括支援だ。各課横断的に、地区の課題と合わせて研究を進める。

Q コミバスを使いやすくする検討は。

A 増便は財政的に厳しい。利便性の改善は地区とも話し合っ進めていく。

Q 町政運営にあたり、町長表明の6つの柱に加えて、もう2つの柱「①地域経済活性化 ②職員の働き方改革と事業の見直し」を意識して取り組むことを求める。役場新庁舎整備やエアコン設置事業などの町事業を、地域経済の活性化に結びつけられないか。

A 地元への発注で地域循環を増やすことは重要と認識。法的な規制もある。方法を研究する。

Q 地方創生などに人や予算を充ててきたことに対して総括が必要。働き方改革と住民サービスの充実を合わせて進めるために、職員定数を増やし、再任用職員の扱いを改めよ。

A 2020年からの法改正に合わせて、非常勤・嘱託職員のあり方を調査研究している。



「かわわの家」は閉鎖。認知症対応グループホームの再開が求められる

条例改正

●特別職の職員の給与に関する条例 (☆1)

- ① 人事院勧告により年2回の期末勤勉手当を4月1日から同率に。
- ② 残業手当未払いの責任を取るため町長、副町長、教育長の1~3月までの給与月額を30%減額。**11対2で可決**

賛 副町長、教育長の人事が不明なままでは働き方改革が進むか疑問だったが答弁で確認できたので賛成。(根岸)

賛 算定根拠に対し疑問。新三役の働き方改革の意思と受け止める。サービス改善含め、進捗の報告を求める。(渡辺)

賛 3割減でも4,200万円は穴埋めできない。あくまでも責任と対策に引き続き取り組む姿勢を見せることと理解。(小笠原)

反 人事が変わる直前に「責任を取るため」は変。結果、元副町長は影響なく、無関係な新教育長が減額で理解不能。(露木)

反 行政で責任を取れるのは町長しかいない。常に側近と一緒に、組織に混乱が生じる。(坂本)

●二宮町税条例 (☆2)

- ① 控除対象配偶者から同一生計配偶者に名称変更。

- ② 法人町民税割の引き下げ。
- ③ 公害防止設備と再生可能エネルギー発電設備の償却資産2年延長と軽減拡大。**12対1で可決**

反 地方交付税の財源付け替えて、町財政の自主性をさらに縮める。太陽光発電支援のわがまち特例の充実賛成。(渡辺)

●職員の給与に関する条例 (☆3)

人事院勧告により、給与表および勤勉手当等の支給割合等と週休日の時間外手当を変更。**全会一致で可決**

皆さまからの陳情

介護労働者の労働環境・処遇改善について(☆4)

神奈川県医療労働組合連合会

介護及び看護職員の人員配置改善、一人夜勤の解消、賃金水準と介護報酬の引き上げ、保険料負担軽減を国費で行うよう国に意見書提出を求めるもの。

反 介護現場の待遇改善は必須と考えているが施設側の努力を問うも返答が無く煽動を感じる。(大沼)

賛 利用者の介護度上がり、人員配置基準について確保困難。厚労省も不足指摘。改善必要。(小笠原)

賛成多数で採択

安心安全の医療、介護の実現と労働環境改善について(☆5)

神奈川県医療労働組合連合会

医師、看護師の医療技術職・介護職など夜勤交替制労働環境を改善すること患者・利用者負担の軽減を図ること、地域医療に必要な病床機能確保すること求め、国に意見書提出を求めるもの。

全会一致で採択

県と国に私学助成の拡充を求める(☆6)

神奈川私学助成をすすめる会

県と国に対し、子どもたちに学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する意見書提出を求めるもの。

反 有効な私学助成のため際限ない要求は、必要とする世帯へ十分な機能を果たせない。(大沼)

反 国は2020年度から授業料無償化を実施。県は全国的に見ても最大限の助成をしている。(前田)

反 前倒しを強く求めているのは誰か。助成による独自性欠如の危惧等に対し回答なし。(松崎)

賛 家庭の教育費負担限界。少子化、貧困の連鎖の弊害抑止とリカレント教育にも助成更に必須。(一石)

反対多数で不採択

※「臓器移植の環境整備を求める意見書の提出を求める陳情」と「横田ラプコンの撤廃を求める意見書の提出を求める陳情」は議会運営委員会にて前者は審査内容が不明であること、後者は「審査すべき」と「町の議論にそぐわない」と意見が分かれ、多数決により机上配付となった。

新副町長・教育長



副町長に府川陽一氏 (69歳)
平塚市の中学校教諭・教頭、教育委員会、小学校長、県教育委員会中教育事務所長等を歴任。二宮町では西中学校長として奉職。平成26年12月より教育長。大磯町在住。**賛成多数で可決 (11:2)**

Q 町政は教育行政と違う。府川氏にどのような町政運営を期待しているのか。

A これまでの4年間の課題を共有している。その継続性を持っていきたい。人柄を信頼している。

反 行政手腕について力量が不明であり賛同することに確信が持てないため慎重を優先。(大沼)



教育長に森英夫氏 (61歳)
秦野市の小学校教諭・教頭・校長、県教育委員会中教育事務所長などを歴任。百合が丘在住。**賛成多数で可決 (12:1)**

Q 小中一貫、コミュニティスクール、再配置等に力を発揮してもらえるのか。何を求めているか。

A どう携わってきたか把握していないが、教育行政全般の課題を幅広く捉えていると受け止めている。子どもたちの教育環境を整えていくことを期待する。

反 副町長と同じ理由。判断に足る十分な情報がないままでの賛成は議会軽視となる。(松崎)

賛 温厚で非の打ち所のない好人物であると複数の方から伺った。(前田)

人権擁護委員に2名を選任

要司氏は富士見が丘在住で5期目 (任期3年)、谷本喜代子氏は一色在住で1期目 (任期3年)となる。**全会一致で可決**

一般会計は 4 億9,738万円の増額

注目!! 補正予算

小中学校の
エアコン
設置

残業代
未払いの
対応

歳入の主なものは、国庫補助金（ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金）3,633万円。財政調整基金繰入金 5,500万円。町債 3 億7,100万円（臨時財政対策債7,500万円、小中学校空調設備事業債 2 億9,600万円）など。

一般会計は賛成多数で可決。4 特別会計は全会一致で可決

※千単位切り捨て

小・中学校空調設備整備 (4 億890万円) ★

小・中学校で、計113室で導入。今夏の稼働を目指し 4 億890万円を計上。国から3,633万円、町債・借入金 2 億9,600万円、一般財源 7,657万円を見込む。入札後、臨時議会で承認を受け契約、着工予定。快適な教室での授業が期待される。

未払い時間外勤務手当の遡及支給4,282万円

職員の時間外勤務手当に関する条例違反を是正するため、労働基準法に基づき過去 2 か年度分の遡及支給額4,181万円と、遅延損害金101万円を支払うもの。

町民温水プール施設管理運営事業 (698万円)

猛暑による電気使用量増加と機器の故障等の影響により、電気・水道・ガス料金不足で366万円。加圧給水ポンプユニット 2 台のうち 1 台が故障し交換180万円。男女更衣室のエアコン故障により新規に設置152万円。早急な修繕計画を求められる。

ブロック塀等撤去工事補助金 (75万円) ★

危険なブロック塀の速やかな撤去を促すための新たな補助制度。対象工事や補助額の詳細は町ホームページや都市整備課で確認できる。

百合が丘保育園の改修工事 (447万円)

擁壁が桜の木の根により崩れかけ両方を撤去。駐車台数増、段差解消工事を行う。利用者の安全確保並びに利便性の向上が図られる。

自立支援給付費 (4,528万円)

施設での日中活動を支援する生活介護や、企業等への就労に向けた訓練を行う就労移行支援等の利用増に加え、一部サービスの報酬改定によるもの。国、県から3,396万円補助される。

【反対討論】


時間外手当未払い金の遅延損害金請求を職員に選択させたのは町の意図を感じる。実際請求した人はわずか。対象者全員に支払うべき。(露木)

各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

	善波 宣雄	羽根 かほる	松崎 健	二宮 節子	杉崎 俊雄	坂本 孝也	小笠原 陶子	露木 佳代	渡辺 訓任	大沼 英樹	前田 憲一郎	根岸 ゆき子	一石 洋子	野地 洋正	結 果
町長提出議案名 (左側の数字は議案番号)															
57	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
61	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
63	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
65	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
67	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
68	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名 (左側の数字は陳情番号)															
4	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議案について、○は賛成、●は反対したことを意味しています。 ※陳情については、○は採択、●は不採択です。
※野地議長は採決に加わりません。

一般質問

議員名	一般質問の内容	議員名	一般質問の内容
1 露木 佳代	① 職員の働き方を抜本的に改善することについて ② 支援が必要な子に対する『切れ目のない支援』の強化について	6 小笠原 陶子	地域福祉の向上のための住民参加について
		7 坂本 孝也	役場新庁舎建設計画について
2 羽根 かほる	職員の時間外勤務の在り方と管理方法について問う	 <p>一般質問は、大事な議員活動のひとつです。二宮町は1問1答方式であり、2問目以降の質問は、制限時間内（質問テーマ1件につき40分、2件以上は60分です。）であれば何度でも自由にできます。ただし、町側の答弁時間は含まないため、議員1人につき1時間から2時間半以上行われることもあります。 ※記事は本人の原稿に基づくもの。</p>	
3 二宮 節子	① 学校における防災教育について ② 高齢化が進展する今後の投票所のありかたについて ③ 「地域の通いの場」の今後について		
4 大沼 英樹	新庁舎移転場所について予定地域が適当であるかを問う		
5 松崎 健	一色小学校区地域再生協議会について		

働き方について

Q 平成28年は約7割、29年は約6割の職員に時間外手当が不払い。報道後の動きは。

A 部課長を除く職員に実態把握のヒアリングを実施。業務量、配置人数、組織の課題と改善策等の意見を聞いた。課長級によるワーキングも実施している。

Q 職員のモチベーション向上策は。

A 実践にあたり一番大切なのは、職員自身が仕事に自信と誇りを持つこと。それを根底に組織として協力し合いながら仕事ができる環境づくりをしたい。

Q 少数精鋭で働き方改革を進めていくことと、今の頑張りとのゴールは何につながるのか



見える大きなビジョンが必要ではないか。

A 少数人数での方法も考えていきたい。職員からの意見を整理し、この先に向けたスケジュールを組み立てる。

Q 現在の評価方法では事業の整理はできないのでは。

A 評価シートは根本的に見直す。ただ仮に担当が見直しや廃止を指摘しても、町民サービスに直結するので廃止には直接的に結びついていない。

Q 町長は自身の選挙違反をどう考えるか。

A 不注意と言われてしまえばそうだと思う。しつかり反省、改善すべきところはする。町民の信頼を損ねるといふことであれば、大変申し訳なかつ

問

働き方改革への本気度を問う

答

仕事に自信と誇りを持てるよう
職員の声を生かし改善

たと思う。

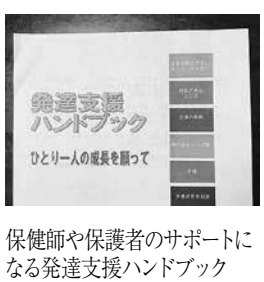
Q いつか町民に説明するつもりはあったか。

A ない。逆にこの場で説明して答えている。

支援が必要な子に対する切れ目のない支援の強化について

Q 発達支援ハンドブックをつくるべき。ホームページも情報不足。

A 保健師も必要性を認識。ハンドブックは来年度中につくる方向。保護者や専門職の意見を踏まえてホームページも改善していきたい。



一般質問



大沼 英樹
無所属

問 新庁舎移転場所の予定地域が適当であるかを問う

答 防災と利便性、町民の声を基に整備へ向け対策を講じる

Q ハザードマップの洪水警戒区域内への新庁舎建設が安心安全な防災拠点となるか。
A 現庁舎の耐震補強、現在地での建て替え、ラディアン周辺、東京大学果樹園跡地の事業性、安全性など検討の上、ラディアン周辺が最善とした。葛川治水対策の早期実現に向け、県に強く要望していく。
Q 過去400年、町の風雨災害13件、昭和10年には甚大な被害の歴史があり町は雨に弱いと思うがどうか。
A 冠水の影響を受けないよう電気室・災害対策本部を2階に考えており、空間構成にも配慮を図る。
Q ラディアン周辺は以前池があり地下水噴

出など軟弱地盤の可能性を感じるがその点は考慮しているか。
A 地下水流入は既存の調整池で対応可能、調査資料から10メートル程度の支持杭300本程の設置になると予想しており、技術的には十分に建設可能な場所と考えている。
Q 津波の緊急輸送道路に国道1号線・西湘バイパスは使えるか。
A 県道71号線に隣接するためラディアン周辺を評価している。
Q 平成30年4月号『広報にのみや』では15億円としていた建設費がなぜ26億円を超えるまでになったか。
A 免震構造とし、保健センターや教育委員会事務所を含んだためであり事業費について

条件	現庁舎耐震化	現地建替え	ラディアン周辺に移転	東大果樹園跡地に移転
利便性等	☺ わかりやすい	☹ 慣れ親しまれた場所ではない	☺ 中心市街地、ラディアン近接でわかりやすい	☹ 公共施設が新たな必要
歩行者・自転車対応	☺ 高台に位置している	☹ 高台に位置している	☺ 中心市街地、ラディアン近接でわかりやすい	☹ 歩道が整備されていない
概算事業費	☺ 17億2千万円	☹ 20億1千万円	☺ 15億円	☹ 15億6千万円
仮設庁舎の必要性	☹ 一部必要	☹ 必要	☺ 不要	☹ 不要

広報にのみやには概算事業費15億円とあったのに…

は、構造や設備等で大幅な変動もあり今後の基本・実施設計を行う中で詳細な金額を出すことになる。
要望 計画を変更できるなら今後余る小学校の新庁舎建設のために大金を投じ、その結果が補助金を削減し、町民の暮らしやすさを奪うことのないよう、町全体の波及効果や未来の町に責任をもって進めていただきたい。



松崎 健
無所属

問 一色小区再生協議会は交通弱者問題に向き合うべき

答 協議会に強要はできない。活動に参加し進めてほしい

Q 一色小学校区地域再生協議会発足から2年半。同地域の活力はどの程度復活したのか。
A 成果として、福祉部会の設立、こうりゅうルーム設置、合唱団結成、ふるさとの家の活用、公園の花壇化、大規模イベントの連携実施が実現。コミュニティが動き出している。
Q 協議会の目標は「住み続けられる地域」をつくること。具体的には少子・高齢化、空き家の増加等地域課題を解決するなど謳っている。成果は数値化できるはず。
A 空き家をゼロ、高齢化率を下げる等を考えているのではない。
Q なぜ、イベントの開催に軸を置き、前述の地域課題解決に不可

欠な交通弱者の問題に取り組まないのか。問題提起されていたが却下されている。
A 課題として、ハードルが高かったと思う。まずは人のつながりや活動拠点を設けることから始めた。平成31年度から検討する移動支援が実現すれば協議会のイベント等に多くの方が参加できるようになる。
Q イベントに参加できなくても人は生きられるが、買い物や通院ができなくなると生きていけない。従って空き家が増えていく。
A まずはイベントや講座に送迎することから検討する。段階を踏みながら買い物や通院の問題に取り組みたい。
Q どれだけの人がイ



坂の多い地域は、免許返納した高齢者には過酷な環境

ベントへの参加を希望しているのか。「住み続ける」ための交通弱者対策が求められている。イベントに参加するためだけの交通弱者対策には賛成できない。
A 指摘は最優先課題と捉えており、協議会に対しプッシュしているが押し付けることはできない状況。松崎議員にも協議会に入ってもらって一緒に進めていってほしい。



小笠原陶子
無所属

問

ボランティア育成とモチベーションの向上は

答

育成にコーディネート機能を充実し活動場所を整える

Q ボランティア養成講座の受講状況と受講者の活動状況はどうか。講座は1回が1日か。1回は1日か、それを同じ曜日に4回実施は参加しにくい。

A スキルアップ講座を実施し、改めて基本を学ぶことで、行事をこなし流されるだけの現状に改善を望む。
A 養成講座は平成24年から開催。平成29年までで延べ112名が受講。そのうち40名が団体登録。一番多いのが災害ボランティアネットワーク。施設での話し相手、身体障がい者施設の作業手伝いが特に多い。講座回数は全6回を4回に減らした。参加者増に向け研究し、県の講座等もわかりやすく周知する。

問

役場新庁舎 建設計画(案)について聞く

答

よく検討して進める



坂本孝也
無所属

Q 昨年12月に町から報告された基本構想・基本計画(案)によると移転先をラディアン北側の空き地を庁舎に、調整池を駐車場にした場合に考えられる影響について、災害時の仮設住宅や町民の集合場所等の防災公園としての機能は維持できるか。また「菜の花ウォッチング」や「ふるさとまつり」などイベント時の駐車収容能力は維持できるか。果樹公園を県から払い下げられないか。

A 建設費は今後最小限に抑えていく。
Q 町民センターはそのままか。
A 近い将来の課題だ。
Q 庁舎の取り壊し費用は。
A 約8千万円含まれている。
Q 庁舎移転先に二宮小学校は検討したか。
A 二宮小の児童は一色小や山西小にスクールバスで送迎し、昼間はコミュニティバスとして運行することで買い物難民の解消にもなる。
町立百合が丘保育園や保健センター、町民センター、社会福祉協議会も吸収できる。山梨県北杜市や箱根町の事例を参考にしたか。
A 学校の統廃合については4、5年先に計画するので、役場の移



町田市ボランティアマップ
見やすくわかりやすい

Q マップは作成していないが、社協のホームページにボランティアを受け入れる福祉施設のリストや地域の通いの場など、個人でもできる活動の場所を掲載していく。二宮町は各団体の活動拠点がラディアンか町民センター等限られた場所な

のでマップのメリットは弱いが参考にしてわかりやすい情報発信に努める。
Q 有償ボランティアなどのモチベーションアップをどう考えるか。
A たすけあいネットワークのような低額の謝金で運用している制度もあるが、基本は活動場所の見える化でモチベーションアップにつなげる。コーディネートーターが課題と認識。



町村合併で高校2校が1校に1校を役所にした北杜市

皆さまからいただいた1票1票を心に刻み、気持ち新たにスタートします

2019年 私の決意

()は党派・期数

*本人の原稿をそのまま掲載しています。



野地洋正
議長
(無所属2期)

昨年12月、改選後の臨時会におきまして議長に選任されました。その重責を改めて感じている次第です。今議会は、14名中10名が2期までと、とてもフレッシュな議会となりました。重き伝統を守りつつも、新たな議会を心掛けてまいります。議会の活性化、開かれた議会は、議員による活発な質疑、意見交換、討論があつてこそ始まると考えておりますので、その環境づくりを進めてまいります。一つ一つ、未来に輝くまちを、共に築きましょう。



善波宣雄
副議長
(無所属2期)

二宮町の将来に関わる政策が庁舎移転など着々と進んでいます。この案件を成功に導くことは、私の使命であると感じており、一生懸命努力し、取り組んでまいります。



羽根かほる
議員
(無所属1期)

町民の皆さまの意見を反映し、わかりやすく、そしてオープンな町政を目指します。庁舎移転を含め、未来を見据えた二宮のまちづくりに全力で取り組んでまいります。



松崎 健
議員
(無所属1期)

交通弱者が安心して移動できる仕組みづくりは喫緊の課題。庁舎移転はこの町の方向性を示す数十年に一度の大イベント。大胆かつ慎重に、未来を見つめて取り組みます。



二宮節子
議員
(公明党2期)

ご支援頂きました皆さまに、感謝申し上げます。総務建設経済常任委員長に就任し、役場新庁舎建設や時代の変遷とともに生じる課題に取り組む、努力してまいります。



杉崎俊雄
議員
(無所属5期)

新庁舎建設等大きな課題のある中でも行政サービスに手抜きは許されたい。町民の想いを町政に反映させるため、是非々で取り組み「全ては町民のため」を実践する。



坂本孝也
議員
(無所属3期)

町民の方々の楽しく活気ある日々の営みがあふれてこそ二宮町。皆さま、議会、行政が一体となり町づくりを目指せば必ず成し遂げられます。議会の一員として頑張ります。



小笠原陶子
議員
(無所属6期)

本年は世界経済の影響や消費税増税等、経済的に厳しい年と予想。町民相談の機会を増やし、シェアにのみやの充実、優しく温かく明るいまちづくりを進めてまいります。



露木佳代
議員
(無所属2期)

主権者町民の町政であり「情報発信・共有による民意の形成と施策反映」が実現します。



渡辺訓任
議員
(日本共産党2期)

「憲法をくらしに活かすまちづくり」を念頭に、くらし・福祉・子育て・教育の充実に取り組みます。皆さまの切実な要望・要求を知恵と力を出し合って実現しましょう。



大沼英樹
議員
(無所属1期)

『真実一途』町民視線を町政へ反映致します。皆さまからの信託を笑顔の暮らしてお返しできる様頑張つて参ります。町の未来を守り笑顔の町づくり随時会員募集中です！



前田憲一郎
議員
(無所属2期)

二期目の船出をしたところです。議会選出の監査委員を拝命いたし、町政運営をより学び、町民の皆さまが安心安全に住み続けたいと思える町づくりをしてまいります。



根岸ゆき子
議員
(無所属5期)

議会運営委員長を拝命いたしました。議会議論は、全体の建設的な活動に繋げるための下地作りと心得、まちづくりに根を深く張れるよう心新たに精進してまいります。



一石洋子
議員
(神奈川ネット2期)

「地」新たな任期、新しい年の始めにこの一字を掲げます。ミクロコスモス二宮町ならではのまちづくりに皆さまとの出逢いを繋ぎチャレンジします。

私たちの議会での役割分担が決まりました

議会は二元代表制のもと、町民から選挙で選ばれた議員で構成され、町民の声を町政に反映するところです。議会の役割は、町の政策を最終的に決定することと、決定した政策を町が適法・適正に、そして、公平・効率的に、かつ民主的になされているか監視することです。

二宮町議会は、町民から選挙で選ばれた14名の議員で構成され、2年ごとに所属する委員会や役職を決めています。



すべての議員はどちらかの委員会に属します！

総務建設経済常任委員会 or 教育福祉常任委員会

【内容】 本会議で付託・付議された請願・陳情、の案件についての審議を行います。また去年は健康づくり条例を提案したり、町の事業に対して意見書をまとめて提言したり、取り扱う案件の範囲で活動をしています。

構成：各7名。本人の希望を優先して決定。

【総務建設経済常任委員会】

案件の範囲：政策総務部、出納課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員事務局、都市部、農業委員会が所管する事項、その他

委員長：二宮節子 **副委員長：**坂本孝也

委員：善波宣雄、羽根かほる、杉崎俊雄、大沼英樹、根岸ゆき子

【教育福祉常任委員会】

案件の範囲：健康福祉部、教育委員会が所管する事項

委員長：渡辺訓任 **副委員長：**露木佳代

委員：松崎健、小笠原陶子、前田憲一郎、一石洋子、野地洋正

議会運営委員会

【内容】 町や議員から出される議案（条例、意見書など）、請願・陳情などの取り扱いや、本会議日程、そのほか議会運営の進め方について決めます。議会に関することで新しく導入することも話し合います。

構成：各常任委員会の委員長を含む、4名ずつの計8名。改選前までは6名だったが、議員の過半数による決定とするため人数を増やした。

委員長：根岸ゆき子 **副委員長：**杉崎俊雄
委員：松崎健、二宮節子、坂本孝也、露木佳代、渡辺訓任、一石洋子

議会だより編集委員会

【内容】 議会だよりを3、6、9、12月の定例議会ごとに発行します。他の自治体と違い、紙面構成、レイアウト、取材、執筆、校正など、ほぼ全般を議員が行っています。

構成：各6名。任期中通算2か年は委員となる。

委員長：露木佳代
副委員長：羽根かほる
委員：松崎健、二宮節子、杉崎俊雄、根岸ゆき子



皆さまと議会を身近なものにする 議会基本条例推進委員会

【内容】 シェアにのみや（年2回の議会報告会および意見交換会）を企画・運営。議会基本条例の継承、検証および改正について検討し、議会改革の諸課題に取り組みます。

構成：議会運営委員会以外の各委員長と議会だより編集委員以外の7名の計10名。

委員長：小笠原陶子 **副委員長：**一石洋子
委員：善波宣雄、二宮節子、坂本孝也、露木佳代、渡辺訓任、大沼英樹、前田憲一郎、野地洋正

【トピック】 快適に議会傍聴ができるような議会ロビーの改善、多くの方に議会活動を知っていただくためのラディアン展示ギャラリーでのシェアにのみやの開催、ホームページのリニューアルなど、改善を進めています。



シェアにのみやにお越し下さい

昨年12月25日に議会に報告がありました

3つのプール

議会の決断は!?

町は袖が浦プール廃止の方向へ

平成26年9月 議会から意見

前年度の決算審査意見で「袖が浦プールは有料利用者が少ないまま推移しているので、速やかに廃止されたい」との意見が提出される。

平成27年9月 議会の委員会から提言書

総務建設経済常任委員会から「袖が浦プールは利用率が低く経費が高い。学校プールとして利用している側面もあるが、存続するなら、大幅な利用率の向上を図るべきである。できなければ廃止も含め、検討すること」との提言が出される。

平成28年4月

袖が浦プールを休止に

平成30年3月 議会全員協議会にて 町からの報告

公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の3つのプールのあり方について、平成30年度中に将来的な方向性を検討し、短期で廃止するプールを決定。

平成29年12月 議会から再開を求める 決議書提出

本会議において「子ども・子育て支援、地域性を考慮し二宮町営袖が浦プールの再開を求める決議」が賛成多数で採択。

平成29年6～7月 町が町民アンケートを実施

回収数436部（回収率43.6%）
◎削減または廃止しても町民サービスは維持できると思う施設
袖が浦プール 27%
山西プール 17% 町民温水プール 5%
※回答結果より抜粋

平成30年8月 町が町民との意見交換会を3か所で開催

参加者のべ37人
（うち議員のべ13人）

※報告にて配布された資料より
平成25～29年度までの5年間の平均の町負担額/年

- ◎袖が浦プール 約640万円
 - ・袖が浦プールのみ3年分とする
 - ・再開に約1,950万円必要

- ◎山西プール 約870万円
- ◎温水プール 約4,300万円

※学校授業のための送迎費用230万円/年

- 山西プールは存続
- 10年以内に、民間運営か広域自治体運営ができなければ温水プールは廃止もありうる。

2月26日から始まる定例会に袖が浦プール廃止条例が町から提出されると

→廃止には議員の

2/3以上の賛成が必要
(10人)

条例で記す「公の施設の廃止」にかかわるものに関する議決の場合

単に賛成・反対ではなく、各議員がさまざまな考えを持っています。賛否の理由にもご注目ください。

平成30年12月 議会全員協議会で報告

町営プールの将来の方向性について

編集後記

今号は改選後の新委員で作成した第1号です。議会だよりの作成は、想像以上にたくさんの手順を踏み、一字一句確認しながら時間を費やして作るものなのだと思えました。また町の方向性に対し、3月議会で決断をする可能性がある「プールの将来について」の記事に致しました。町民の皆さまも議会に積極的な意見を寄せていただければと思います。皆さまが「発行が楽しみ！」と言ってくださるような、議会だよりを目標としてまいります。(羽根)

●議会だより編集委員

委員長
副委員長
委員

露木 佳代
羽根 かほる
松崎 節子
二宮 俊雄
杉崎 俊雄
根岸 ゆき子

ご意見お待ちしております

